

後輩たちへのエール！ その33

2020年5月27日

人生の主人公は他の誰でもないあなた

◇今回は、河村旺音さん（バンクーバー在住）のエールです！

こんにちは。2012 年度卒業の河村旺音と申します。この度は「後輩へのエール」ということで、貴重な機会をありがとうございます。現在はカナダのバンクーバーに就労ビザで滞在しています。コロナの影響で出勤時間が減り、日本に帰国をせざるをえないかと思っていましたが、カナダ政府は外国人労働者である私達にも多額の給付金を与えてくれ、ここでの生活を続ける事が出来ています。

今回の記事を書くにあたり自分の高校生の頃から今を振り返ってみると、いわゆるレールの上を歩んでくタイプではありませんでした(笑) 中学までは勉強が比較的好きな方でしたが、高校生になってからはあまり勉強を好きになれず成績は常に下の方。その代わりに小さいころから大好きだった料理の道に本格的に興味を持ち始めました。結果、周りが大学や看護専門などの道へ進む中、私は関高生では珍しい調理専門学校へ進むことにしました。そこで調理について一生懸命学び、また名古屋で有名だったイタリアンレストランでのアルバイトで、腕のあるシェフの下で働けた事は毎日学びのあるものでした。



2 年間の専門学校を卒業後は地元に戻り、ある自然派のカフェで働くことに。いい職場の方に囲まれて、忙しいながらも毎日楽しく過ごしていました。そしてそこでいろんな人との出会いが私を海外へ連れていくことになりました。

ここで皆さんにお伝えしたいと思うことは、将来のことは誰にも分らない、けどちゃんと繋がっているという事です。専門学校へ行ったときは、将来はどこかのレストランで働きたいと思っていましたが、どんどん自分のやりたいことを具体化していくうちに、私の中でシェフという道はなくなりました。そしてお客さんとの距離感を大切にしているカフェで働き始め、私が好きなのは料理と人

と関わることだと気が付きました。カフェで働いている間も夢を膨らませ、お客さんとの距離感が感じられるフードトラックのような事をするのも楽しそうだと思っていましたが、それよりも海外での生活をしてみたい興味の方が強くなり今に至ります。はじめバンクーバーに来た時も1年で帰る予定でしたが、英語力もバンクーバーでの生活も1年間では自分の満足いくような感じではなく、キッチンスタッフとして働いていた職場のサポートもあり、2021年4月まで滞在できる予定で、今では永住権を目指し、準備を進めています。あんなに勉強が嫌いだった私も英語をもっと勉強したいと思うようになり、英語というツールを通して今では国を超えて友達ができ、私の知らなかった世界をたくさん見せてもらいました。すべてのケースにおいて流暢に話せるとまではいきませんが、それでも苦なくネイティブの方と日常会話を出来るようになったことは、一生の宝物だと思っていますし、これからもずっと磨き続けたい事です。そして今は英語環境でラテアートを学んでみたいと思っています。



一つの事に夢を持ち続けそこへ向かって努力することもとても素敵なことです。そして私のように移り変わる興味を追いかけるのも素敵なことだと思います。どちらにも正解や不正解はありません。それぞれのやり方、進め方があり、それでいいと思います。その瞬間、瞬間は必ず自分の気持ちと向き合ったうえでの進路選択をしていく事の方が大切なんじゃないかなと思います。たとえそれが大多数とは違う道になったとしても、周りが反対であろうと、あなた自身が納得して選択した未来であればそれがきっと正解ですし、周りと比べる必要は全くないです。この先、将来に悩む方がたくさんいらっしゃると思います。でもまずはやってみてください。それでダメなら失敗だと思わずまたやり直せばいいのです。何かを始めるにも早いも遅いもありません。学びたいと思ったその時が始め時です。

最後になりますが、高校生活3年間って本当にあっという間です。勉強体験をたくさんして、いろんな事に挑戦して、小さなことでもいいので何かやりきったと思えることが、先の未来で必ず糧になるはずで。まだまだコロナの事がどうなるか誰にも予測ができません

が、だからこそこの期間をチャンスとみて、明るい未来が来ると信じてお互いに頑張りましょう。ありがとうございました。

